

## 医薬品用途のポリアクリル酸部分中和物の販売基本契約を、 昭光通商と韓国ハンノン・ケミカルズが締結

～素材商社の昭光通商と韓国ハンノン・ケミカルズが、拡大が予想される医薬品市場に新原料を投入予定～

化学品や合成樹脂、金属・セラミックスなど素材の総合商社である昭光通商株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：渡邊 健太郎、以下昭光通商）は 2025 年 5 月に韓国ハンノン・ケミカルズ（Hannong Chemicals Inc.、京畿道安養市、以下ハンノン・ケミカルズ社）と医薬品添加物である「ポリアクリル酸部分中和物」の販売基本契約を締結しました。

ポリアクリル酸部分中和物は、パップ剤（湿布薬）や冷却シートの基材として使用される水溶性高分子です。現在はハンノン・ケミカルズ社がプラントを建設中であり、製造販売開始は 2026 年 3 月を予定しています。製造販売開始後は、昭光通商が総代理店として、拡大が予想される東アジアや東南アジアでの販売を行う予定です。

本製品に関するお問合せは、以下から賜っております

<https://www.shoko.co.jp/contact/chemicals/>



（写真）ハンノン・ケミカルズ社の本社

### ■新たに製造を開始する医療用添加物「ポリアクリル酸部分中和物」について

ハンノン・ケミカルズ社が新たに製造を開始する医療用添加物であるポリアクリル酸部分中和物は、パップ剤（湿布薬）や冷却シートの基材として使用される水溶性高分子であり、アクリル酸を原料とする合成高分子です。ポリアクリル酸部分中和物の機能には、粘着性や増粘性などの特徴があります。パップ剤（湿布薬）は特に高齢化が進む地域におい

て需要拡大が見込まれており、また冷却シートは夏季の熱中症対策や発熱時のケア用品としての需要拡大が予想されております。

#### ■ 販売予定エリア

昭光通商とハンノン・ケミカルズ社は 2016 年以降長年にわたる取引実績を踏まえて、医薬品添加物としてのポリアクリル酸部分中和物に関する販売基本契約を 2025 年 5 月に締結しました。2026 年 3 月以降は昭光通商が総代理店として、パップ剤（湿布薬）や冷却シートの需要拡大が予想されていると言われていた東アジアや東南アジアでの販売を予定しております。

#### ■ ハンノン・ケミカルズ社による医薬品市場への参入

ハンノン・ケミカルズ社では、医薬品添加物としてのポリアクリル酸部分中和物のほかに、医薬品添加物規格のカルボキシビニルポリマーの製造販売も計画をしています。昭光通商では、ハンノン・ケミカルズ社と共同で、成長が予想される医薬品市場での拡販を進める予定です。

#### ■ 昭光通商とは

会 社 名 昭光通商株式会社

住 所 東京都港区芝浦三丁目 1 番 1 号 田町ステーションタワー-N 31 階

代 表 者 名 代表取締役社長 渡邊 健太郎

設 立 1947 年 5 月

海 外 拠 点 中国、韓国、台湾、タイ

U R L <https://www.shoko.co.jp/>

#### ■ 本リリースに関する問い合わせ先

昭光通商株式会社

URL <https://www.shoko.co.jp/contact/>